

菊池温泉街リブランディング事業 景観まちづくりの推進プロジェクトチーム NEWS

Vol.4

1. 第1回プロジェクトチーム会議の開催（令和8年7月22日）

景観まちづくりの推進プロジェクトチームでは、昨年度から菊池温泉街のデザインコンセプトや整備のあり方について議論を重ねてきました。

今年度第1回目となる今回は、宿泊飲食事業者、観光協会関係者などが参加し、これまでの議論を踏まえて作成したデザインコンセプト（案）や整備イメージ（案）をもとに、「温泉街で実現したい風景」について意見交換を行いました。また、温泉街のロゴデザイン（案）についてもお披露目し、基本デザインを決定しました。



事務局からの報告

- 昨年度の振り返りと今年度の予定
- ロゴデザインについて
- デザインコンセプト（案）について
- 街路・広場の整備（案）について
- 夜間照明社会実験の実施策

グループに分かれて意見交換

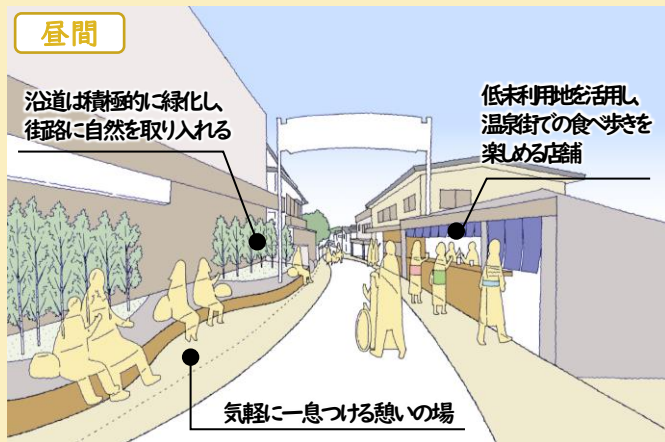
温泉街の街路や広場のイメージパース（昼・夜）を見ながら、温泉街の将来像について幅広く意見を出し合いました。

【意見出しの視点】 温泉街の将来イメージとして、

- 良いと思った点（ここが魅力的、こうなると嬉しいと感じるところ）
- 付け加えたい点（あったらいいなと思う機能・工夫・使い方など）
- 地域の目線から感じる不安な点 を考える



昼間



夜間



2. 菊池温泉街ロゴデザインの意見交換・決定

基本デザイン



その他 派生デザイン



主な意見

- ・ 柔らかい印象を与えるロゴデザインなので、フォントも温かみのあるものが合うと思う
- ・ ローマ字の小文字部分については、看板等での利用を想定し、視認性を高めるための工夫が必要
- ・ モノクロ版のロゴも使用できるようにする
- ・ ロゴの活用を促進するため、ロゴシールを事業者等へ配布し、店舗の封筒や包装材などに使用できるようにしてはどうか

3. グループワークでいただいた意見など

全 温泉街全体に関すること

街 街路に関すること 広 広場に関すること

良いと思った点

安心・子ども

- 全 ・子ども連れで来れる場所
- 全 ・お母さん達も集うことができるスペースは魅力的
- 街 ・女性が安心して浴衣で歩ける街並み照明
- 広 ・宝来館横の広場は子どもがゆっくりすごせるスペースになると良い
- 広 ・特に家族連れが滞留できる空間があるのは良い

店舗

- 街 ・雄龍の道は常設のフードエリアとして、キッチンカーやオープンカフェを活用
- 街 ・正観寺には屋台が合う

ライトアップ

- 街 ・店舗の明かりがにじみ出ている
- 広 ・足元やネオンの明かりが良い
- 広 ・写真映えする空間

既存ストック

- 街 ・宝来館の足湯周りはくつろぎスペースで活用

その他

- ・ゾーン分けが効いている

不安に感じる点

安心・子ども

- 全 ・バリアフリーに配慮が必要
- 全 ・車の往来が少なくできる仕組み・マインドが作り出せるのか
- 全 ・駐車場が少ない
- 全 ・短期間で大駐車場ができるのか
- 街 ・街灯が少ない、暗い
- 街 ・子どもが集まる場所であるから、治安が心配
- 広 ・近隣住宅への騒音被害
- 広 ・住民への配慮がどこまでできるか

店舗

- 全 ・夜は店舗がない場所にキッチンカーの設置
- 全 ・古くからの店舗の方々からの反対
- 全 ・多店舗との関係

既存ストック

- 全 ・古い空き家の解体が先
- 全 ・廃ビルの撤去をどこまでできるか
- 全 ・温泉街入口のゴミ捨て場の箇所が今のままではもったいない
- 全 ・用地の確保

その他

- ・自動販売機や既存物と新景観との一体感
- ・一号井周辺を公園などに見ては
- ・市民は観光への税金の活用を望んでいるのか

付け加えたい点

安心・子ども

- 全 ・温泉街内を歩行者天国に。時間帯で交通を規制する
- 全 ・公衆トイレの設置
- 全 ・子供が集まる場所(提灯、足湯)
- 全 ・緑、日影を用いた涼しい空間づくり
- 街 ・歩きながら休めるスペース
- 街 ・子どもに優しい素材を使用
- 広 ・暑さ対策(スプリンクラーなど)

店舗

- 全 ・飲食店が立ち並ぶ場所に
- 全 ・カフェ、テイクアウトの店(街歩き)
- 街 ・龍参の場にお店があればいいな
- 広 ・昭和レトロのマニアと店舗を作る

デザイン

- 全 ・水路をもっとオープンに
- 街 ・広場から迎え入れる道に
- 広 ・モニュメント(玄関口に)

ライトアップ

- 全 ・屋根、ソーラー電源の設置
- 全 ・時間帯に応じた明かりの切り替え
- 広 ・照明に協賛→参加の意識

既存ストック

- 全 ・「水と緑」がコンセプトの温泉街に
- 広 ・ラブベンチ広場の活用

その他

- ・イベントの定期実施、文化として定着(屋台、朝市、マーケット)
- ・新しい昼間の人流を引き込む工夫(高校生の活動の場など)
- ・浴衣で接客
- ・民間の代表者が継続的に参加
- ・若い人に向けたチャレンジショップ

「景観まちづくりシンポジウム(案)」を開催します!

現在進行中の菊池温泉街リブランディング事業などを題材に、まちづくりや景観についてトークセッションを行います。

期日:令和8年10月24日(土)15:00~17:00
(夜間景観まちあるき18:00~)

